

## 2025年5月度理事会 議事録

1. 開催日時：2025年5月26日（月）16時00分～17時30分
2. 開催場所：〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN  
26F 株式会社サトー 会議室+WEB開催
3. 出席者：高島代表理事、佐々島理事、佐藤理事、  
事務局メンバー）株式会社サトー 宇敷様、  
王子タック株式会社 高橋様、大阪シーリング印刷株式会社 大橋様、  
リンテック株式会社 加瀬（記）

### 4. 議案：

#### <審議> 1. 臨時総会開催について（高島代表理事）>

定款第26条に基づき役員の任期は2年間としているが、現在3期目であるため再選が必要。再任であっても総会での審議事項であるため、6/20の情報共有会の前に実施する。その後、6/23の理事会で最終決議をとり登記する。5/28に臨時総会のアナウンスを出す（大橋様にて対応）。

#### ○今期役員を選任

今期の理事・監事は再任の提案とする（理事一同）。

#### ○議事録関連

定款第21条、第36条に基づき、総会、理事会の議事録には押印が必要。これまで議事録の内容は、理事で確認しているが、押印をしていなかった。過去の議事録も押印が必要か確認する。（高島代表理事）

#### <審議> 2. 回収BOXを活用した実証実験について（サンプルBOXにおける剥離紙の状況）>

回収オペレーションの確認、回収経路や数量の把握、回収課題の洗い出しを目的に回収BOXを活用した実証実験の実施を予定。回収BOX（段ボール箱）を使用することで、剥離紙リサイクルの推進、剥離紙譲渡企業様の拡大が想定される。参加企業は、ラベル加工（販売）企業、ラベル使用企業、古紙回収企業。1回目は2025年7月1日～9月30日、2回目は2025年11月1日～12月31日を予定している。※2回目はBOXにIDを付与してトレース検証を実施予定。

#### ○実証実験フロー

- ・段ボール箱手配：J-ECOL 指定の段ボール箱をラベル使用企業、ラベル加工（販売）企業に送る。  
（実証実験では、段ボール箱の費用、加工費をJ-ECOLで負担）
- ・回収パターン①：ラベル使用企業が古紙回収企業に発送。（輸送費用は元払い）
- ・回収パターン②：ラベル使用企業がラベル加工（販売）企業に剥離紙を持ち込む。若しくは、ラベル加工（販売）企業が商習慣の中で、ラベル使用企業から剥離紙を持ち帰る。その後、ラベル加工（販売）企業が古紙回収企業に発送。（輸送費用は元払い。ルート回収も可）

#### ○将来構想

- ・段ボール箱手配：古紙回収企業がJ-ECOL仕様の段ボール箱及びトレース用IDを購入し、ラベル使用企業、ラベル加工（販売）企業に販売する。（箱代+トレースID+加工費）
- ・回収パターン①：実証実験パターン①に加え古紙回収企業のルート回収も可。パターン②は同じ。

## ○ロゴ入り段ボール箱の手配準備

設計寸法（外寸）451mm×331mm×399mm サイズで剥離紙を詰めたところ、ロール状では30数 kg、シート状では7kg となった。シート状の場合、サイズは最適。ロール状では重すぎる、底抜けの心配があるため、ロールが多い場合は、ハーフサイズの段ボールで運用してもらおう。ハーフサイズは内寸223mm×325mm×高 390 で追加見積取得中。実証実験に参画して頂ける企業の段ボール箱の要望次第で、段ボール箱の発注数量を決める。また、段ボール箱が欲しい企業への分納については、J-ECOL での費用負担前提で行うが、要望企業ごとに王子コンテナから分割出荷納入は難しい。200枚発注で、新座、静岡、大阪、福岡の4カ所分納程度であれば可能か王子コンテナへ確認する（佐々島理事）。場合によっては、段ボール箱の一時保管場所として、全日シール事務所1Fへ置くことを事前相談、検討し、そこから二次配送が可能かも考える（高島代表理事）。

## ○実証実験運用エリアと古紙回収企業

埼玉は山田洋治商店様、日本製紙（東京資源）様は検討中、東海はK Gホールディング様、大阪は日誠産業様、福岡は坪野谷紙業様に対応して頂く。（実証実験の内容は共有済み。）

## ○スケジュール

- 5/28 実証実験の事前案内
- 6/9 12:00～実証実験の運用説明会
- 6/15 回収BOXの一次締め切り
- 6/20 情報共有会にて実証実験の内容説明(追加募集、以降随時募集)
- 7/1 実証実験運用開始
- 10/17 中間報告
- 12/31 実証実験終了
- 2/13 情報共有会にて最終報告

### <共有) 3. 情報共有会、議題について>

新加盟企業の紹介、BOX運用、資源循環セミナーフィードバックの3点。

### <共有) 4. ヒアリングシートの状況確認>

2024/10～2025/4の期間で16カ所の回収要望有り。7/1以降で、剥離紙回収の要望があった場合は、実証実験を説明して、実証実験に参加してもらおう。（高島代表理事）。

### <共有) 5. その他共有事項（リコー環境事業開発センター見学、情報共有会会議室料金）>

センター見学の参加者は15名。情報共有会会議室料金は現時点で15:30～19:30で77,440円（19360×4h）。臨時総会があるため、時間を変更する（宇敷様）。

### <共有) 6. 学術研究について（高島代表理事）>

学術研究として、「循環型社会における排出事業者と生産者の行動変容に関する研究」を行っており、使用済みラベル台紙（剥離紙）を事例としている。協会の許可を得る前提で、これまでの協会の取り組みや調査、実証実験で得られた情報などを活用させて頂いても良いか。特に問題無し（理事一同）。

以上